


2026  メディアでつながる国際女性デー

## NHKと在京民放が連携！7局アナウンサーSPコラボ座談会など発信



この春、NHKと民放各局(日本テレビ、テレビ朝日、TBSテレビ、テレビ東京、フジテレビ、TOKYO MX)は連携して、国連が定める「国際女性デー」(3月8日)にあわせ、女性の生き方や健康について考える情報を放送やインターネットで発信する取り組み「#私らしく」を展開します。

3月の1か月間、女性の生き方や体と心をめぐるさまざまな課題と解決の手がかりを、テレビやラジオ、SNSなどを通じて幅広く発信します。

今年で5回目となるこの取り組みには、女性と若者の健康と権利の啓発活動などを行う国連人口基金(UNFPA)にも賛同いただき、性別をこえて、誰もがありのままの自分・相手を受け入れ、生きやすい社会について考えるきっかけとなることをめざします。それぞれの組織で働く人と出演者の人権・人格を尊重し、一人ひとりの心身の健康に配慮し、安心・安全な環境づくりに一層取り組んでまいります。

※期間中に放送・配信する内容は、NHKおよび民放各局がそれぞれの責任のもと発信します。

## ■スペシャル・コラボ座談会を放送！「#私らしく 働く」



国際女性デーを前に、2月22日、7局のアナウンサーが一堂に会し、「自分らしい働き方」を応援するトークイベントを開催しました。その様子を、それぞれのメディアがテレビなどで発信します。

「仕事とプライベート、両立できるか不安」

「自分らしく働き続けるにはどうすれば？」

視聴者のみなさんから寄せられた「働き方」をめぐるお悩みや質問について、テレビでおなじみのアナウンサーが自身の体験を振り返りながら、語り合い、考えます。



(出演者7人のコメントは次ページ)

### <出演者のコメント>(チャンネル順)

- 首藤 奈知子(NHK) 「みなさんの話に共感！働く上でのヒント、そして優しさと勇気をもらえる言葉がいっぱいです。」
- 森 富美(日本テレビ) 「優しい言葉、勇気づける言葉、肩の力が抜ける言葉アリマス。一緒にお話ししましょう！」
- 林 美沙希(テレビ朝日) 「働き方の選択肢が増える中、悩みを共有することも未来への一歩になると感じました。」
- 篠原 梨菜(TBS テレビ) 「『その大変さ、耐える以外やり方はないのか?』どんどん働きやすくしていきましょう！」
- 狩野 恵里(テレビ東京) 「『私らしく』とは、まずは自分を愛することから！ちょっとずつでも、少しずつでも。」
- 新美 有加(フジテレビ) 「周りや自分への優しさを連鎖させ、誰もが働きやすい社会へ共に変えていきましょう！」
- 森田 美礼(TOKYO MX) 「等身大の思いを共有できた時間でした。皆さんが自分らしく働く力になりますように。」

NHK・民放各局は、国連人口基金(UNFPA)とともに、期間中、女性の“健康な生き方”につながるさまざまな情報を提供します。



#### ■UNFPA 成田詠子 駐日事務所長のコメント

世界が音を立ててきしむ今、一人ひとりが多様性と人権を大切に、「#私らしく」生きることが平和な社会の礎となります。国連人口基金は「メディアでつながる国際女性デー」に賛同し、多くの方々にこの思いを広げたいと考えています。

※2026メディアでつながる国際女性デー「#私らしく」UNFPA 公式サイト

<https://tokyo.unfpa.org/ja/news/iwd2026>

テレビ朝日では、報道局のコンテンツを中心に、国際女性デーにまつわる企画をお届けしてまいります。